

# 参考資料

# 関係府省庁の取組施策例

---

## 【経済産業省】

- ・ 子供の製品安全に関わる取組 ※別紙1 参照

## 【内閣府・文部科学省・厚生労働省】

- ・ 教育・保育施設等における事故報告及び事故情報データベース公表
- ・ 重大事故の再発防止のための検証と事故防止等のためのガイドライン
- ・ 教育・保育施設等における重大事故防止策を考える有識者会議開催 ※別紙2 参照

## 【文部科学省】

- ・ 学校事故対応に関する指針 ※別紙3 参照

## 【厚生労働省】

- ・ 健やか親子21（第2次） ※別紙4 参照

## 【国土交通省】

- ・ 都市公園における遊具の安全確保に関する指針

## 【海上保安庁】

- ・ 「海の安全教室」等、海の安全推進活動

## 【消防庁】

- ・ 救急事故防止リーフレット（乳幼児版）

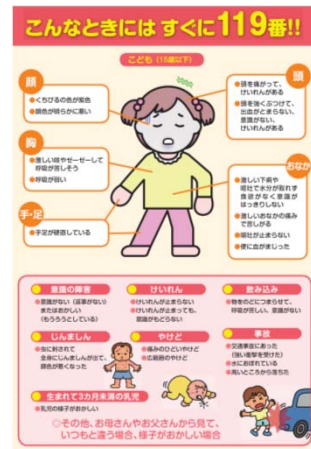
# 府省庁間で共有可能な主な啓発ツールの例①

## 生活環境全般



子供の製品事故防止リーフレット  
(経済産業省、NITE)

救急事故防止リーフレット 乳幼児編  
(消防庁から平成29年3月発行予定)



救急車利用についてリーフレット  
(消防庁)

子供の事故防止ハンドブック 未就学児対象  
(消費者庁から平成29年4月発行予定)

## 学校、教育・保育施設



教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインに沿った啓発資料  
(内閣府、文部科学省、厚生労働省)



安全教育用パンフレット  
(文部科学省)



学校安全Web  
(日本スポーツ振興センター)

## 府省庁間で共有可能な主な啓発ツールの例②

### 都市公園・遊戯施設



公園遊具の安全利用に関するパンフレット  
(国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」等に基づき、日本公園施設業協会が作成)



### 製品安全



小学校高学年向け  
製品安全教育用パンフレット  
(経済産業省)



学校向けリコール製品  
リーフレット  
(経済産業省、消費者庁)

### 海の安全



海のレジャーの安全に関する  
パンフレット、海水浴の注意事項  
(海上保安庁)

# 府省庁間で共有可能な周知ルートへの例

## 啓発情報の発信、啓発資料の配布等の機会

| 取組名称           | 実施時期                        | 所轄府省庁 |
|----------------|-----------------------------|-------|
| 製品安全総点検月間      | 毎年11月                       | 経済産業省 |
| 各市町村における母子保健事業 | 母子健康手帳交付時（妊娠届出）、乳幼児健診時（集団）等 | 厚生労働省 |



製品安全総点検月間 経済産業省内展示風景

## 啓発情報の発信ツール

| 情報発信ツール名称            | 実施時期 | アクセス数・登録者数               | 所轄府省庁 |
|----------------------|------|--------------------------|-------|
| 学校安全ポータルサイト          | -    | 100万アクセス/月               | 文部科学省 |
| Facebook（こちら製品安全情報局） | -    | -                        | 経済産業省 |
| 健やか親子21（第2次）         |      |                          |       |
| ホームページ               | -    | アクセス数約10万<br>（平成28.3現在）  | 厚生労働省 |
| ツイッター                | -    | フォロワー数約300<br>（平成29.1現在） |       |
| 子ども安全メール             | 毎週木曜 | 登録者約3万人<br>（平成29.2現在）    | 消費者庁  |
| 消費者庁ツイッター            | -    | フォロワー数約19万<br>（平成29.3現在） |       |
| 消費者庁フェイスブック          | -    |                          |       |



文部科学省 学校安全ポータルサイト



厚生労働省 健やか親子21ホームページ

# 府省庁間で共有可能な要請・依頼発出先団体の例

## 医療機関の団体(厚生労働省)

| 名称                   |
|----------------------|
| 日本医師会                |
| 日本産婦人科医会             |
| 日本産科婦人科学会            |
| 日本小児保健協会             |
| 日本小児科学会              |
| 日本小児科医会              |
| 日本歯科医師会              |
| 日本看護協会               |
| 日本助産師会               |
| 日本栄養士会               |
| 日本薬剤師会               |
| 健やか親子21推進協議会(会員88団体) |

## 保育園・幼稚園・こども園の団体 (厚生労働省・文部科学省・内閣府)

| 名称                  | 会員数      |
|---------------------|----------|
| 全国保育協議会             | 約21,000園 |
| 全国私立保育園連盟           | 約9,000園  |
| 日本保育協会              | 約8,000園  |
| 全国国公立幼稚園・こども園長会     | 約4,000人  |
| 全日本私立幼稚園連合会         | 約8,000園  |
| 特定非営利活動法人全国認定こども園協会 | 約1,000園  |
| 一般社団法人全国認定こども園連絡協議会 | 約110園    |

## 地方公共団体(各府省庁)

| 名称                       | 対象件数             | 関係府省庁 |
|--------------------------|------------------|-------|
| 都道府県母子保健担当部局             | 47都道府県           | 厚生労働省 |
| 保健所設置市母子保健担当部局           | 73市              |       |
| 特別区(東京23区)母子保健担当部局       | 23区              |       |
| 都道府県教育委員会、<br>都道府県私学担当課等 | 47都道府県<br>約4万5千校 | 文部科学省 |
| 都道府県消費者行政部局              | 47都道府県           | 消費者庁  |
| 政令指定都市消費者行政部局            | 21市              |       |

計100団体以上、  
延べ300以上の自治体  
部局への要請・依頼が  
可能

# 府省庁間で共有可能な事故情報の例①

## ■消費者庁 事故情報データバンクシステム

消費者庁と独立行政法人国民生活センターが連携して、関係機関の協力を得て実施している事業で、関係機関から「事故情報」、「危険情報」を広く収集し、事故防止に役立てるためのデータ収集・提供システム。

[http://www.jikojoho.go.jp/ai\\_national/](http://www.jikojoho.go.jp/ai_national/)



## ■内閣府・文部科学省・厚生労働省 特定教育・保育施設等における事故情報データベース

平成27年から内閣府・文部科学省・厚生労働省に報告のあった事故の情報について、内閣府において集約・データベース化を行ったものについてを公表。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/index.html#database>



## ■独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 事故情報データベース

製品安全分野～暮らしの安心を支援する、安全・快適さに関する情報の発信～製品事故に関する情報を調査、分析し、再発防止やリスクの低い製品開発に向けて必要な情報を発信。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/jiko/search/index.php>



## 府省庁間で共有可能な事故情報の例②

### ■独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校事故事例検索データベース

災害共済給付において平成17年度～平成27年度に給付した、  
総数6,079件の死亡・障害事例が検索可能。

[http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen\\_school/  
anzen\\_school/tabid/822/Default.aspx](http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/anzen_school/tabid/822/Default.aspx)

学校安全Web

ホーム 災害共済給付 学校安全 刊行物 お知らせ

ホーム > 学校安全Web > 学校事故事例検索データベース

学校事故事例検索データベースでは、災害共済給付において平成17年度～平成27年度に給付した、総数6,079件の死亡・障害事例が検索できます。  
なお、死亡見舞金として支払った後、※供花料として扱うケースがあり、この場合、同じ事例が「死亡」と「供花」の両方に、重複して表示されます。  
※供花料とは、学校の管理下における児童生徒等の死亡で、第三者から損害賠償が支払われたこと等により、死亡見舞金が支給されないものに対して支給するものです。

検索項目を選択し、「検索」ボタンを押してください。  
各検索項目の説明については、こちらをご覧ください。 ⇒ [データベースのご利用にあたって](#) [PDF:272KB]

学校事故事例検索データベース

開始年度: 選択なし 終了年度: 選択なし  
■ 給付年度: [選択なし] [確定なし] ~ [選択なし] [確定なし]

■ 死亡・障害: [選択なし] ■ 死亡障害種別: [選択なし]

■ 被災学校種別: [選択なし] ■ 被災学年: [選択なし] ■ 性別: [選択なし]

■ 場合別1: [選択なし] ■ 場合別2: [選択なし] ■ 競技種目: [選択なし] ■ 通学方法: [選択なし]

### 参考：日本小児科学会 Injury Alert(傷病速報)

日本小児科学会では、2008 年から会員より報告される誤飲、誤嚥、窒息、転落、転倒、衝突、熱傷・火傷、溺水などの傷害事例を収集。

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会では、傷害事例について討議を行い、コメントをつけた上で3段階※に分類。有害事象で社会的影響が大きいと判断された傷害事例は、傷害速報として学会誌及び学会の一般向けホームページに掲載。

※①有害事象で社会的影響が大きい

②有害事象だが社会的影響が小さい

③有害事象が今後起こり得るヒアリハット症例

<https://www.jpeds.or.jp/modules/injuryalert/>

| Injury Alert (傷害注意速報) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No. 31 フード付きパーカーによる溢瀉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事 例                   | 年齢：4歳9か月 性別：女<br>体重：14.9kg 身長：99.1cm (頸部まで83cm、頭周り24.5cm)                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 傷害の種類                 | 溢瀉                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 原因対象物                 | フード付きパーカー                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 臨床診断名                 | 溢瀉                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 直接医療費                 | 67,190円(入院)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 発生状況                  | 発生場所 自宅の玄関                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                       | 周囲の人・状況 自宅内で遊んでおり、一人で玄関から外へ出た。両親および7歳の兄はともに家にいたが、患児が外出したことを特に気にしていなかった。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                       | 発生時刻 2012年3月11日(日曜日) 午後1時30分頃                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 発生時の詳しい様子             | 自宅の居間で父親と7歳になる兄がピアノを弾いていた。母親は台所にいた。患児が玄関の戸を開き、外出した気配を感じたのが午後1時30分頃であったが、ピアノの音のため詳細は不明である。午後1時40分頃、患児の所在が気になった母親が玄関に行き、開き戸の取手の下部分(写真1)に、患児の着ていたパーカー(写真2)のフード部分が引っかかった状態で、戸は閉まっていた。患児の泣き声が聞こえたため外開きの戸を開けたところ、パーカーの頸部が患児の頭に巻き付いた状態であった。慌ててパーカーを脱がせ、助け出したところ喉をし出した。その際、口唇の色は黒かった。意識消失はなかった。午後1時45分頃には様子が落ちついたようであったため、保護者は受診先を探した。しかし、近隣で受け入れてくれる施設がなく、1時間後に当院に受診となった。 |
|                       | 来院時のバイタルサインに異常はみられなかった。眼周囲にうっ血斑(写真3)、頸部前方に線状の皮下出血(写真4)を認めた。状況からパーカーのフードが引っ張られたことによる溢瀉であると推測された。産後性の障害を監視する目的で、生体情報モニターによる管理下で入院とした。入院後は特に状態の悪化を認めず、翌日には退院となった。その後、外来を再受診しているが、一度なくなった夜尿が再び見られるようになった以外は特に状態の変化はみられなかった。                                                                                                                                            |

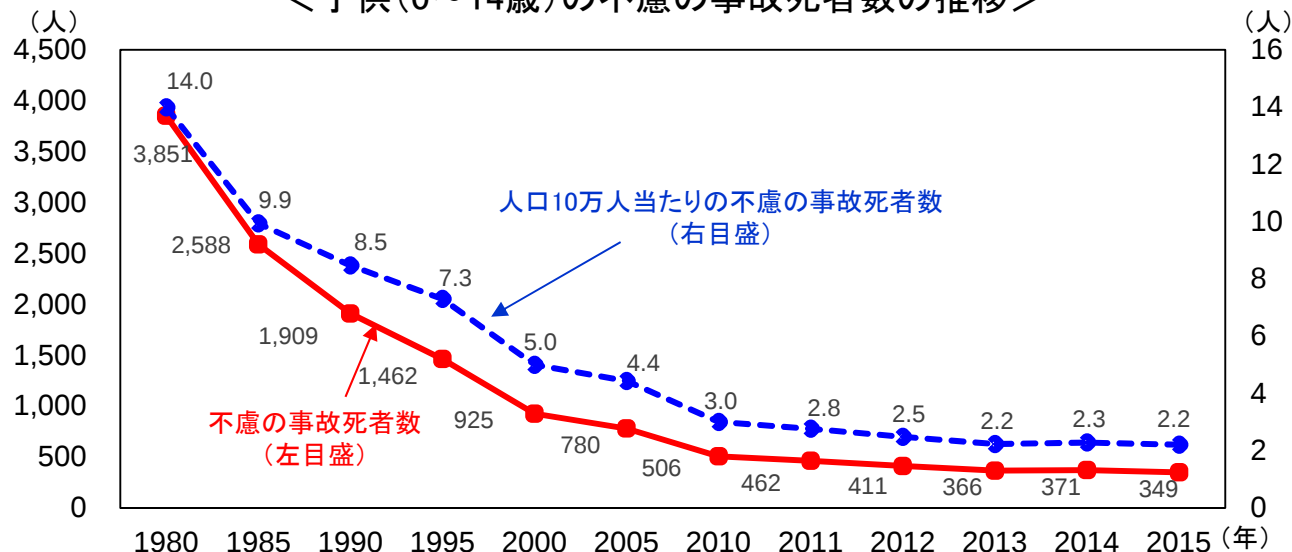
# 子供の死亡事故の現状①

- 子供(0～14歳)の死因のうち「不慮の事故」は病気を含む全ての死因の中で上位。
- 長期的にみれば、子供の「不慮の事故」による死者数は減少傾向にあるものの、近年も、毎年300名以上の子供が、不慮の事故で亡くなっている。

＜平成27年の子供(0～14歳)の死因＞

|        | 1位    | 2位    | 3位        | 4位     | 5位    |
|--------|-------|-------|-----------|--------|-------|
| 0歳     | 先天奇形等 | 呼吸障害等 | 乳幼児突然死症候群 | 出血性障害等 | 不慮の事故 |
| 1～4歳   | 先天奇形等 | 不慮の事故 | 悪性新生物     | 心疾患    | 肺炎    |
| 5～9歳   | 悪性新生物 | 不慮の事故 | 先天奇形等     | 心疾患    | 肺炎    |
| 10～14歳 | 悪性新生物 | 自殺    | 不慮の事故     | 先天奇形等  | 心疾患   |

＜子供(0～14歳)の不慮の事故死者数の推移＞

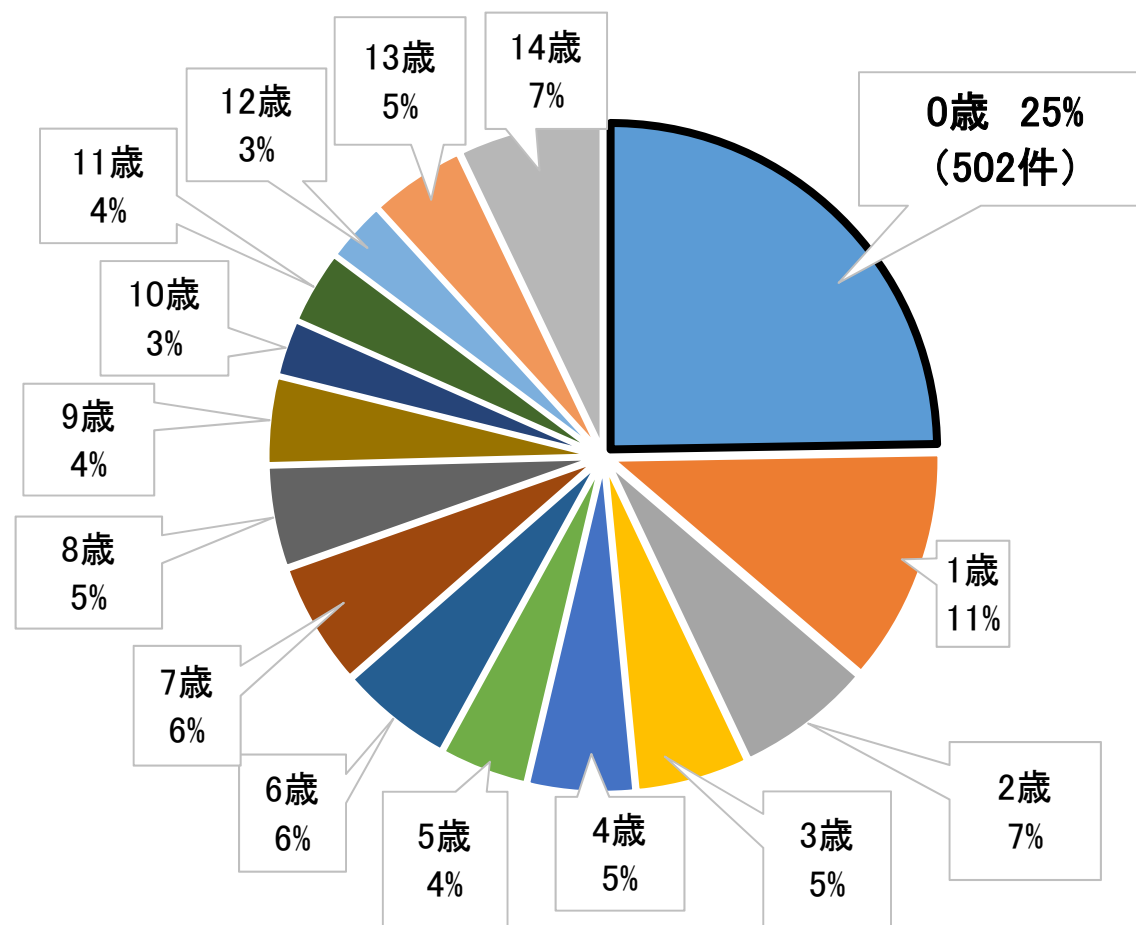


(備考)厚生労働省「人口動態調査」により作成。 ※自然災害による死亡を除く。

## 子供の死亡事故の現状②

- 平成22年～平成26年の5年間の子供の不慮の事故死を年齢別にみると、全体(2,030件)のうち、0歳が全体の1/4を占め、0歳～6歳で全体の64%を占めている。

＜年齢別の事故発生比率(平成22年～平成26年)＞



(備考)厚生労働省「人口動態調査」により作成。 ※自然災害による死亡を除く。

## 子供の死亡事故の現状③

年齢別に、死因を分析すると、

- 「窒息」は、0歳で圧倒的に多く発生しており、1～2歳でも上位。
- 「交通事故」は、1歳以上の全ての年齢で1位。
- 「溺水」は、1歳以上の全ての年齢で2位、3位以内に入る。また、5歳以上で屋外での「溺水」が多く発生。
- 「建物からの転落」は、3、4歳で多く、5歳以上の年齢で5位以内に入っていることが多い。

＜年齢別の事故発生比率（平成22年～平成26年）＞

|     | 1位             | 2位                 | 3位                | 4位               | 5位                   |
|-----|----------------|--------------------|-------------------|------------------|----------------------|
| 0歳  | 窒息（就寝時）<br>32% | 窒息（胃内容物の誤嚥）<br>23% | 窒息（詳細不明）<br>11%   | 窒息（食物の誤嚥）<br>10% | 交通事故<br>6%           |
| 1歳  | 交通事故<br>28%    | 溺水（浴槽内）<br>23%     | 窒息（胃内容物の誤嚥）<br>9% | 窒息（食物の誤嚥）<br>8%  | 窒息（その他の物による誤嚥）<br>5% |
| 2歳  | 交通事故<br>43%    | 窒息（胃内容物の誤嚥）<br>8%  | 溺水（その他原因）<br>7%   | 窒息（食物の誤嚥）<br>6%  | 窒息（詳細不明）<br>4%       |
| 3歳  | 交通事故<br>37%    | 建物からの転落<br>16%     | 溺水（屋外）<br>9%      | 溺水（浴槽内）<br>7%    | 窒息（食物の誤嚥）<br>5%      |
| 4歳  | 交通事故<br>36%    | 建物からの転落<br>13%     | 溺水（浴槽内）<br>8%     | 溺水（その他原因）<br>8%  | 溺水（屋外）<br>8%         |
| 5歳  | 交通事故<br>47%    | 溺水（屋外）<br>14%      | 溺水（浴槽内）<br>7%     | 溺水（その他原因）<br>5%  | 建物からの転落<br>3%        |
| 6歳  | 交通事故<br>50%    | 溺水（屋外）<br>19%      | 溺水（その他原因）<br>6%   | 溺水（浴槽内）<br>4%    | 建物からの転落<br>4%        |
| 7歳  | 交通事故<br>59%    | 溺水（屋外）<br>20%      | 溺水（その他原因）<br>6%   | 建物からの転落<br>3%    | その他の転落<br>2%         |
| 8歳  | 交通事故<br>57%    | 溺水（屋外）<br>17%      | 溺水（その他原因）<br>5%   | 窒息（食物の誤嚥）<br>4%  | 建物からの転落<br>4%        |
| 9歳  | 交通事故<br>45%    | 溺水（屋外）<br>17%      | 建物からの転落<br>7%     | 溺水（その他原因）<br>7%  | 不慮の首つり・絞首<br>5%      |
| 10歳 | 交通事故<br>52%    | 溺水（浴槽内）<br>11%     | 溺水（屋外）<br>9%      | 窒息（食物の誤嚥）<br>5%  | 不慮の首つり・絞首<br>4%      |
| 11歳 | 交通事故<br>37%    | 溺水（屋外）<br>21%      | 建物からの転落<br>8%     | 溺水（浴槽内）<br>7%    | 溺水（その他原因）<br>5%      |
| 12歳 | 交通事故<br>46%    | 溺水（屋外）<br>16%      | 溺水（浴槽内）<br>13%    | 窒息（詳細不明）<br>7%   | 窒息（胃内容物の誤嚥）<br>3%    |
| 13歳 | 交通事故<br>44%    | 溺水（屋外）<br>17%      | 溺水（浴槽内）<br>13%    | 建物からの転落<br>7%    | 窒息（食物の誤嚥）<br>4%      |
| 14歳 | 交通事故<br>39%    | 溺水（屋外）<br>19%      | 溺水（浴槽内）<br>12%    | 建物からの転落<br>10%   | 溺水（詳細不明）<br>4%       |

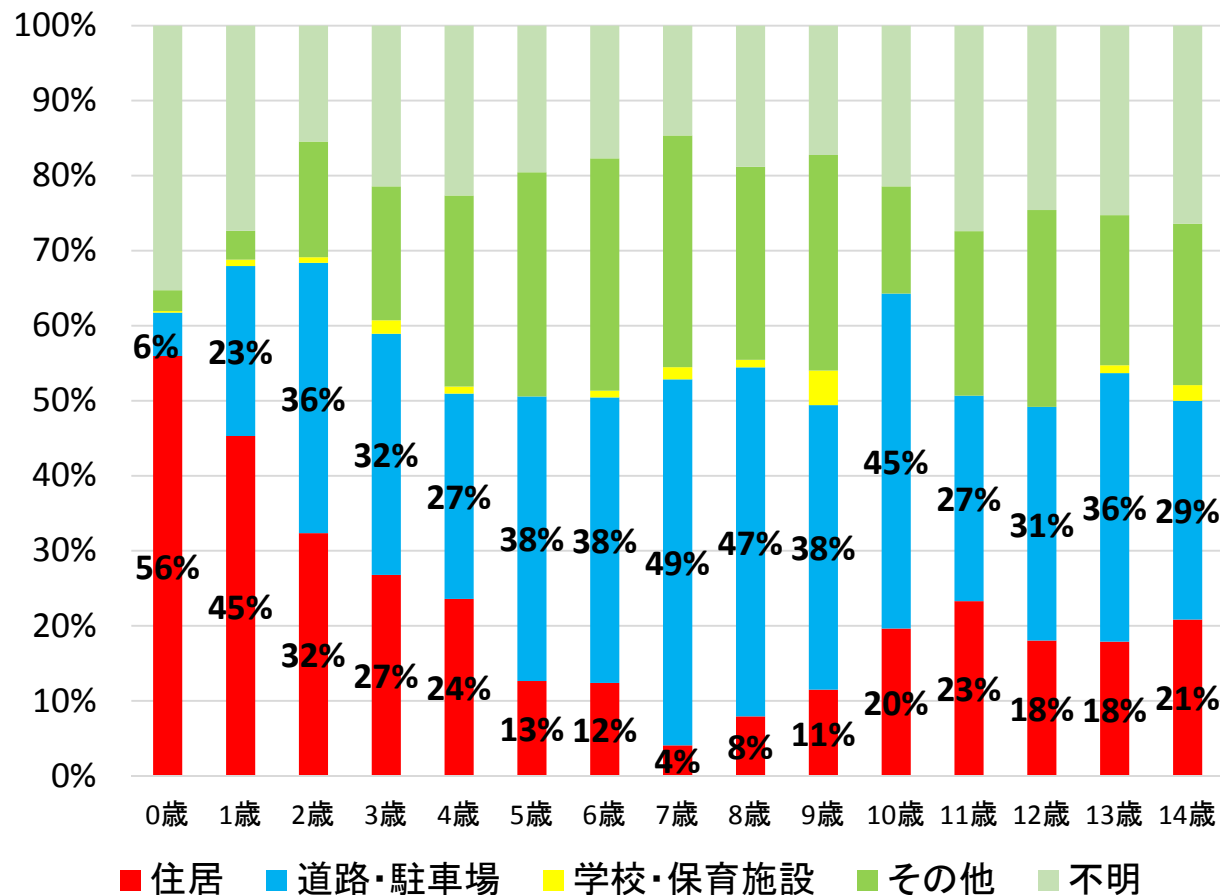
（備考）厚生労働省「人口動態調査」により作成。 ※自然災害による死亡を除く。

## 子供の死亡事故の現状④

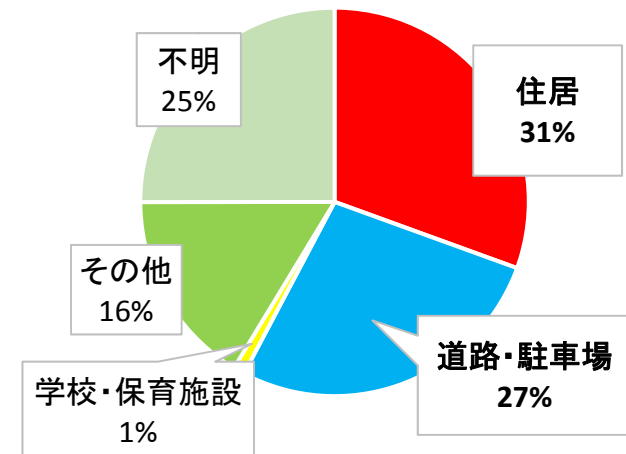
子供の不慮の事故死の発生場所を分析すると、

- 事故発生場所は、住居(家庭内)と道路・駐車場を合わせると約6割を占めている。
- 低年齢(0～6歳)の子供ほど、住居(家庭内)での事故が多くなっている。
- 道路・駐車場での事故死の要因は交通事故がほとんどを占めている。

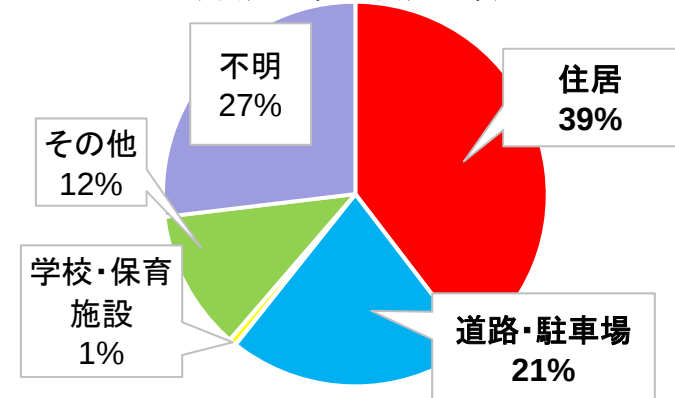
<年齢別の事故発生場所(平成22年～平成26年)>



0～14歳の事故発生場所の割合  
(平成22年～平成26年)



0～6歳の事故発生場所の割合  
(平成22年～平成26年)



(備考)厚生労働省「人口動態調査」により作成。 ※自然災害による死亡を除く。